



## ● 尼崎のために。日本のために。

人情味と正義感の街・尼崎の一員となって4年目を迎えました。

尼崎中央商店街4番街に事務所を設け、3番街のペットショップで巡り合ったトイプードルの愛犬ロッタ、妻の恵と一緒に阪神尼崎駅前のマンションで“3人”暮らしです。本日は、この3年間の活動の記録を、お届けします。

「尼崎のために。日本のために。」を合い言葉に、活動を続けています。国道43号線の東本町に続いて、五合橋・出屋敷の両交差点へのエレベーター設置。懸案の大阪府側への山手幹線の延伸。猪名川・藻川の堤防補強。この2年余り、関係機関と交渉を重ね、具体的な着手のメドが見えてきました。

国政でも、衆議院本会議の代表質問に5回登壇。予算委員会では計19回の質疑を行い、「東京電力福島原子力発電所事故に係る両議院の議院運営委員会」(国会事故調)の合同協議会でも初回到意見表明を行いました。

“老保一元化”の発想で、商店街や住宅地の空き家を改修し、お年寄りのデイサービスと就学前の乳幼児保育を一つ屋根の下で行う「宅幼老所」の開設。

地域の間伐材を活用して、鋼鉄製と同じ安全強度認定を受けた“環境に優しい”木製ガードレールの設置。

長野県知事時代に県の独自予算で実行した、これら2事業も昨年、国としての予算化が初めて実現。今年は更に箇所も予算も倍増です。

## ● 私は 守るべき人を間違えない。

「大増税・TPP・放射能」。私たちの仕事と生活を直撃する、いずれも深刻な問題です。

「3・11」以降の日本は以前にも増して、「霞ヶ関」に象徴される古めかしい既得権益集団の都合に左右され、「強きを助け・弱きを挫く」嘆かわしい政治状況に陥っています。

古今東西、増税で景気浮揚した国家は、どこにも存在しません。TPPは、日本が誇る国民皆保険制度やモノ作り産業に甚大な影響を与える“平成の壊国”です。

今こそ固定観念を打破し、日本を富ませ・国民を豊かにする“富国裕民”の「新しい方程式」を打ち立てねばなりません。

人間の五官が察知し得ない無色・透明・無臭な放射能の更なる被害を防ぐ上でも、日本の研

究者が発見した「石油を作る藻＝オーランチオキトリウム」の実用化に向け国家的支援を行うべき、と震災直後の予算委員会で提言したのも、こうした思いからです。

田中康夫と新党日本は、人間の体温が感じられる一億総中流社会を創り上げるべく、「発想を変え・選択を変え・仕組を変えよう」と提言し、行動してきました。

これまでも、そして、これからも、人情味と正義感の街・尼崎を愛する皆さんと共に、“長いものに巻かれる気概”を抱いて、奮闘します。

ご意見、ご質問、ご要望を含め、お気付きの点は、どうぞ遠慮なくお申し付け下さい。

田中康夫